

●とびつくす●

お菓子の家を作ろう

徳島県立徳島科学技術高等学校

私が、おかしの家を作る上で難しいと思ったことは、家の耐震性をつけ、バランスをとることです。耐震性を意識して作りたかったのですが、私は材料の選定が遅く、欲しい材料をすぐに決めることができませんでした。その中でも、壁を2枚構造にすることで重さに耐えられるように耐震性をつけました。与えられた材料の中で作りあげることができたのですが、屋根のバランスがとりにくく、悩んでいたところ、アドバイスをいただくことで完成させることができました。



デザイン、耐震性、バランスを考えて家を作ることが難しいと改めて実感しました。自分の思い通りにならないことがたくさんあり、苦労したこともありましたが、みんなで楽しく作ることができたと思います。みんなそれぞれ工夫したところが異なっていたので面白かったです。

今回はこのような体験ができとても良い経験ができたと思います。来年自由設計があるのでそのときに活かし

ていければと思いました。ありがとうございました。

西田 恵

今回、おかしの家作りの体験をさせていただき多くの知識が身についたと思います。お菓子で家を作るときに、壁に用いるウエハースが少なくなったので大丈夫かと思いながらルマンドを途中から使用すると、壁に変化が生まれ、以外とお洒落になったことや、たけのこの里と緑のアイジングを使用する事で低木を再現したことなど、自分の独創性・創造性を発揮できたので楽しかったです。また、最後の建築士会の方々の好評をいただいた際に、「敷地に対して建物が大きすぎる」や、「緑が少なすぎる」など様々な話をさせていただきました。自分で家に帰り「敷地に対して建物が大きすぎる」ということを調べていると、建ぺい率という言葉があることを知りました。敷地に対して建てても良い大きさの家は都市計画によって決められていることを知りました。



このおかしの家作りを体験したことで建物を建てる時には様々なルールがあることを知りました。来年は自由設計があると先生から聞いているので建築基準法に則り作品を作りあげていきたいと思いました。今回は、このような体験をさせていただきありがとうございました。

原井 大晴

今回、おかしの家を作る体験をさせていただきありがとうございました。体験を通して建物の耐震や構造について深く考えることができました。



また、作品を作っている最中に崩れそうになってしまった際にアドバイスをくださったり、一緒に考えてくださったりしたことで家に大切なことをたくさん知ることができました。家の強度を高めるために火打や筋かいなどの部材を入れると良いことがわかりました。

実際におかしの家を作りながら、楽しく勉強できてとてもよかったです。ありがとうございました。

川村 美嘉

2月4日に行われたお菓子の家を作る授業でたくさんのお菓子を準備して下さりありがとうございました。お菓子を準備してくれるだけでなく、家を作る際にどのようなことに気をつけたら良いかなども教えて頂き、あ

りがありがとうございました。

僕も実際にお菓子の家を作る際、教えて貰ったことを頼りに中にポッキーで骨組みを作ったり、うまい棒で柱を作ったりしてみました。教えて貰った通りに組み立ててみたら、凄く安定した家が出来きたと思います。

最初は、「お菓子で家を作るのにどうしたら良いのだろうか?」「積み重ねていけば倒れるのではないか?」などと、色々と考えていましたが、教えてもらった通り骨組みや柱をつけることで、安定していて、倒れる心配もないほど立派なお菓子の家が出来たことに、自分の中では良い思い出になったと思います。

お菓子の家を通じて学んだことをいかして、今後も頑張っていこうと思います。お菓子の家を作るという機会を作って頂き、ありがとうございました。凄く楽しく学べたと思います。

伊月 太陽



●地域会だより●

小松島・勝浦地域会 活動報告

小松島・勝浦地域会 今岡 賦史

私、小松島・勝浦地域会の今岡賦史（いまおかたけし）と申します。当・地域会の活動内容とあわせて、阿南那賀地域会様との合同活動もご報告させていただきます。

■ 会員数の少ない小松島勝浦地域会（会員数千〇千）
建築士会・名簿をみますと、当地域会の会員数は、38名（2019年名簿）でした。

会員数が減少しますと、当然、地域会で活動する予算の限度枠が大幅に制限有。何も活動できなくなる……というのが当地域会の悲しい課題内容であります。

■ 個人的には正会員、所属する会社としては賛助会員
当地域会の庄野章夫先輩のスパルタご指導のもと、所属する会社が賛助会員として入会して、賛助会費をお納めし、その上で、所属会社が得意とする建築資材メーカー様の支援を得て、活動費用を捻出しました。その事例を（リアルで千〇千）ご説明させていただきます。

■ 賛助会員のお力をお借りしての建築士会・活動報告
建築資材メーカー様にも多岐にわたり、建築士会員様にご指定して頂いて、その建築資材の商材が世の中に、メーカー代理店→販売店→会員様所属の建築会社様へ商材が流通していきます（※お金が流れていく）。その貢献度合を考慮した上で、予算捻出をどうするかが、キーポイントになります。更に、メーカー様が代理店制を設けているか、どうかも重要な要因です。私の所属する会社では、住宅外壁材の改修用として、複合金属サイディング（アイジー工業様）を取り扱いをしております。建築資材メーカー決算月（3月末）に、さまざまな受注物件（60-150㎡）を一括でトラック1台にまとめて注文する代替えとして……6月-7月にあるメーカー展示会の視察バス費用の補助をお願いしますという手法を採用しております。

■ 賛助会員の得意とするメーカー様の協力を得る！

今回のメーカー様の協力を得る手法の実例です。

① アイジー工業様の展示場がない弱みを知る。

② 代理店（ALC 販売）様の代理店的立場を知る。

上記考慮の上で、賛助会員企業として購入金額を提示。交渉の末（リアルなお話）、バス費用を得た次第です。本紙をお借りし、メーカー・代理店様へ御礼申し上げます。



2017年 アイジーフェア大阪の視察（会場前）

■ 地域会・賛助会員企業の立場を利用しての活動

このような事例の通り、メーカー様・代理店様のご協力を得て、建築士会活動費（バス費）を捻出、その他は賛助会員企業様（食事費）へお願いし、建築士会の補助費（バス内での飲食費にあてる）という具合に、各社様のご協力を得て……やっとな……地域会活動に貢献できましたV〇V！

（※注 数字の義務も果たさなければなりません）

■ 小松島勝浦地域会・活動内容（会員様への）

当地域会は、正会員数が非常に少ないという状況のため、本来ならば、地域会の予算からバス費を捻出して、建築見学ツアー・資材メーカー訪問等を実施すべきなのですが、それができない諸事情がございます。地域会の総会の際にご相談し、諸先輩方のご了承を得て、活動させていただきました。

■ 2地域会合同の建築視察・懇親旅行ツアー

私が青年部部長の時分、阿南那賀支部（当時）の西田茂支部長様、中山茂事務局長様、当支部の中尾治由支部長様と一緒に合同研修旅行を企画。当時のINAX様とニチハ様の名古屋視察研修ツアーに組み込んだ旅行が、正会員様に高好評でした！

■ 今後の地域会の活動について

絶対的な正会員数が少ないという問題はなかなか解決できませんが、知恵を絞って、賛助会員様のお力もお借りし、笑顔で活動していく所存です。

●あなたが出番●

日本の裏

川島地域会 井内 末起

少し前のことになりますが、2022年秋にある組織の方から「日本の裏側を見てみませんか？」とお誘いを受けました。とても興味があったのですが、不安が先に立ち躊躇して返事を保留しました。

ある組織とは世界に1,000以上の支部を持つ巨大組織です。その組織でも影響力のある方からのお誘いで、内容もサミットとのことなので熟慮して参加を決めました。(誤解のないように組織とは、趣味で続けているブラジリアン柔術の団体です。)

時期は11月末から12月初旬10日間です。仕事の段取りを済ませ、家族に理解してもらい？いざ飛行機に乗り込みました。

関空発ドバイ経由の機内はサッカーワールドカップ中なのでそこかしこで歓声拍手が上がっていました。ドバイ空港で軽食（ハンバーガーセット3,000円）を取り、また長時間飛行機に乗りやっと陸地の夜景が目に入ってきました。山の斜面にたくさんの灯りがとてもキレイでした。ここからまだ3時間飛行機で移動します。ようやく着陸しましたが機内が拍手に包まれたのには逆に不安を感じましたが。移動時間30時間かけて到着した日本の裏ブラジル、フロリアノポリスです。

今回はブラジリアン柔術のイベントと団体発祥の地、リオデジャネイロを回ります。

イベントでは3日間で柔術界のレジェンドといわれる先生方のセミナーや、参加者の試合を楽しみました。試合結果は準優勝でした。



コンネットカンペオナートブラジレイロ

ここまで来たら折角なので早朝エルシリオルス橋に行ってきました。ブラジル本土とサンタカタリーナ島を結ぶ南米最長の下路型単径間補剛トラス吊橋という世界に5橋しかない珍しい橋です。架設約百年ということもあり現在は通行できなく眺めるだけとなり

ました。

フロリアノポリスを後にし、第二の目的地リオデジャネイロにやってきました。ここでは、リオニテロイ橋(13,290m)を渡りオスカーニーマイヤーの手掛けたニテロイ現代美術館に向かいました。湾の崖っぷちに不時着した UFO のような白い建物で、青い空と海に映えます。中を見学しようとゲートに向かうと休館でした。気を取り直して昼食をとり、セラロンの階段に向かいました。

芸術家のセラロンさんが赤を基調としたタイルを階段に張り始めたのがはじまりだそうで、世界各国から支援されたタイルが張られ、日本のタイルも有るとのことです。上へ上へと探しましたが見つかりませんでした。後で聞くと上は、「ファベラと呼ばれる貧民街でとても危険なので行かないほうが良い」と下りてからガイドさんに教えてもらいました。

無事日本に帰ってこれてほっとしました。他にもいろいろ回ったのですが紙面の都合でこれぐらいにしておきます。ご興味ある方はお気軽にお声がけください。



エルシリオルス橋

●ほつとにゆーす●

令和5年度分：建築士としての社会的活動団体募集事業の選考会結果

～建築士会の公益目的活動「建築士の社会的活動助成事業」～

事業貢献委員会

令和5年度の「建築士としての社会的活動団体募集事業」選考会結果です。

＜選考会日程＞

日時：令和5年3月31日(金) 16:00～17:30

場所：徳島県建築士会 会議室

＜出席選考委員＞

事業貢献委員会

島田めぐみ（委員長）、岸田徳明（副委員長）、

池辺友香子、中飯賀業、横尾政明、松江寿夫、

矢部洋二郎（担当副会長）

＜選考内容＞

選考は、更新された事業貢献委員会委員に対する事業への理解を兼ねて、第2回委員会として実施。

令和4年度選考会結果（まちかど4月号：ほつとにゆーす）で案内のとおり、「～建築士会の収支は健全に推移していますが、事業収入は減少傾向にあり、令和6年度には木造住宅耐震化促進事業の大幅な見直しが見込まれています。

このため、当募集事業もスリム化に取り組む必要があり、令和5年度から次の方針への修正を検討中です～。

①（継続年数に関係なく）すべての事業を同列に扱う。

②助成額は、1事業あたり20万円を上限とする。

③事業費の不足が見込まれる場合は、各団体で協働者を募集する、あるいは活動団体助成事業の募集に応募する（例：日亜ふるさと振興財団による募集）等の財源獲得策を工夫する。

④事業継続期間は3～5年までとする。

⑤事業予算総額150万円までとする。

⑥各地域会からの応募を期待する。

⑦新規事業・新規参加者へと活動の輪を広げようをめざす。

＜選考結果＞

これらの選考方針により、20年目となる美馬地域会の「将来住みたい家絵画展」など8事業の活動目標、活動内容、参加者、予算等を検討し、次表のとおり選考しました。

業名	＜採択＞
お菓子の家をつくろう（15年目） （お菓子の家をつくろう）	200,000
LED イベント（16年目） （LEDクラブ）	175,250
将来住みたい家 絵画展（20年目） （美馬地域会）	200,000
木育住育出前授業（9年目） （阿南・那賀地域会）	200,000

建築士会の出前授業（19年目） （三好地域会）	75,000
高齢期に備えた住まいの改修の大切さを学び備える啓発活動（3年目） （バリアフリーデザイン研究会）	200,000
徳島・建築士オーラルヒストリー研究会「県南地域調査」（2年目） （徳島・建築士オーラルヒストリー研究会）	50,000
「まちの縁が輪」づくりプロジェクト （2年目） 徳島県建築士会徳島地域会	200,000
計	1,300,250

※なお、年度（2月中）末までに活動報告書（変更・修正などがあれば加筆して）提出してください。

＜選考会での意見＞

1. 継続年数の長い事業は、建築士会のPR活動を長く続けていただいている功績はありがたいが、「建築士会の事業収入は減少傾向にあり、⑦新規事業・新規参加者へと活動の輪を広げること」も大切なことなので、特に、③を参考に、外部からの活動予算獲得も行ってほしい。

特に、日亜ふるさと振興財団による募集は令和2・3年度に応募した経緯があり、ぜひとも進めてほしいこと。

なお、手続き等については委員会へ問合せください。

2. LEDイベントについては、北島中央公園のイベントになっている様子なので、他の公園等での実施へと展開していただきたいこと。

3. 徳島・建築士オーラルヒストリー研究会「県南地域調査（2年目）」は、初年度の詳しい報告書が未着であること、地元建築士の活動との関係性が乏しいことなどから、仮に、50,000円を予算枠として予定しておくことに留めておくこと。

【リーフレット：みらいの建築士を目指すみなさんへのメッセージ】

このリーフレットでは、木育住育出前授業（9年目）（阿南・那賀）、けんちく出前授業（三好）、土壁補修・コテ絵体験・登録有形文化財の塀修復（三好）、お菓子の家をつくろう（建築士会お菓子の家をつくろう）、LED光の道イルミネーション（建築士会LEDクラブ）、将来住みたい家 絵画展（美馬）を紹介し、QRコードから動画で活動を知ることができます。活用してください。

以上

●行政だよりー徳島県●

「改正建築物省エネ法・建築基準法等
に関する説明動画」のご案内

国土交通省から、改正建築物省エネ法及び改正建築基準法等の内容全般、2023年4月1日から施行される内容、及び今後の施行時期等に関して、説明動画が公開されています。

確認申請実務に役立つ内容となっていますので、ご視聴いただきますようお願いいたします。(説明時間は2時間程度)

<主な対象者>

- ・特定行政庁、指定確認検査機関等の職員
 - ・設計者
 - ・住宅販売事業者、工務店等の建築物省エネ法・建築基準法に関わる業務に携わる方々
- ※詳しくは説明会動画ホームページを御覧ください

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/r4kaisei_setsumeidouga.html

●行政だよりー徳島市●

徳島市建築行政関係職員名簿

4月1日の人事異動

建築指導課長	大澤 賢次
建築指導課長補佐	長谷部 亮
〃	中西 量宏
指導担当係長	太田 英明
審査担当係長	谷井 恵美
〃	榎野 孝則
開発担当係長	上田 諭志

●士会だよりー本部●

「第40回住まいのリフォームコンクール」
の実施について

公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センターでは、第

40回住まいのリフォームコンクールを実施いたします。

リフォーム前後がともに住宅である「住宅リフォーム部門」と、住宅以外の建物を住宅として再生したものや、住宅をカフェ、コミュニティ施設、子育て支援施設などに用途変更した「コンバージョン部門」の2部門にて開催します。

募集期間

2023年4月3日(月)～6月23日(金)

- 各 賞 国土交通大臣賞 (1点)
分野別特別賞 (数点)
優秀賞 (20点程度)

審査結果発表 9月上旬

表彰式等 国土交通大臣賞の受賞者は、10月に開催予定の「住生活月間中央イベント」にて表彰されます。

詳しくは士会ホームページをご覧ください。

店舗／工場・倉庫内の昇降をサポート



製造から販売・メンテナンスまで
自社一貫で行う
総合エレベーターメーカーです。

- ・荷物用エレベーター
- ・小荷物専用昇降機 など





本社：大阪市西区京町堀1-12-20
TEL.: 0120-07-0570
HP: www.kumalift.co.jp

編集後記

- ・庭の植が4メートルを超えて、とても自分では剪定できない。同級生が退職後、剪定の講習に通うと言っていたのを思い出し電話したら、ちゃっちゃちゃってくれた。友として良き人「ものくる人、医者、植木屋」 (ノーツ号)
- ・今日は少し毒吐いてしまいました (酎西)
- ・ワテはいつも毒吐いてま (ひとはたうさぎ)
- ・もっといっぱい毒吐いてね (ぺべい)

建築士会本部行事

令和 5 年 5 月	令和 5 年 6 月
9日(火) 監査・理事会 (建設センター)	7日(水) 建築士定期講習 (建設センター)
10日(水) 建築相談 (士会会議室)	10日(土)～11日(日) 青年・女性建築士のつどい
13日(土) 徳島支部総会 (建設センター)	中国四国ブロック大会 徳島大会 (藍住町総合文化ホール他)
24日(水) 建築相談 (士会会議室)	14日(水) 建築相談 (士会会議室)
27日(土) 本部総会 (予定) (ザ・グランドパレス徳島)	20日(水) 建築士定期講習 (建設センター)
	26日(月)～27日(火) 国四国ブロック会長会議 (ホテル千秋閣)
	28日(水) 建築相談 (士会会議室)

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午後1時から午後4時まで実施しています。

※ 建築相談は第2・第4水曜日の午後1時・2時・3時(相談時間は1時間以内)に実施しています(要予約)。

発行所

公益社団法人 徳島県建築士会
〒770-0931 徳島市富田浜2丁目10番地
建設センター 5F
[TEL] 088-653-7570 [FAX] 088-624-1710
[MAIL] tokuarc-honb@diary.ocn.ne.jp